

兵庫 県
保険医協会

西宮屋 支部ニュース

No. 333

2016・10・15

〒662-0832

発行 兵庫県保険医協会 西宮・芦屋支部
西宮市甲風園一―一五 法貴皮膚科内
連絡先 兵庫県保険医協会
電話〇七八(三九三)一八〇三

アスベスト健康被害を許すな! 夙川学院短大解体工事の真相究明を

西宮・芦屋支部は10月1日、西宮市民会館で「アスベスト問題研究会」を開催。支部世話人でストッブ・ザ・アスベスト西宮」代表の上田進久先生が講師を、西宮市・広川内科クリニック院長の広川恵一先生が司会を務め、5人が参加した。

上田先生は、今月から神戸地裁で口頭弁論が始まる「西宮こしき岩アスベスト訴訟」について、提訴に至った経緯や問題点を詳細に解説した。

この訴訟は、旧夙川学院短大校舎10棟の解体工事が2013年から順次行われた際、アスベスト処理が適切に行われたかどうか住民が疑念をもったことから始まった。事業主は一部建物にレベル1(吹き付け)のアスベストがあると説明していたが、その他にはアスベストはないとしていた。ところが、住民が専門家の協力を得て、証拠保全の手続きをとり残存する建物を独自に調査したところ、空調ダクトのパッキンからレベル2(断熱耐火材)のアスベストの存在が確認された。また、設計図書分析により、その他にもアスベストを含む建材などが多量に存在していたことが明らかになった。

住民がアスベストの存在を証明したにもかかわらず、西宮市は依然として「アスベストはなかった、調査するつもりはない」との見解をとっている。また、解体工事等調査票の書類が、業者が変わり「アスベストはない」というものに差し替えられたにもかかわらず、市がそれを黙認したという不適正な経緯があり、大気汚染防止法に基づく調査権を市が行使しないのは不作為であると上田先生は指摘。

事実を認め問題の解決に努めるべきとして、事業主と解体業者、西宮市を相手に提訴に踏み切ったとした。原告は3歳から81歳までの住民38人で、現時点では具体的な損害が発生していないため慰謝料請求訴訟として争われるが、裁判を通じて真相究明と再発防止を指しているとした。10月25日に神戸地裁大法廷で行われる第1回口頭弁論で傍聴席を埋めて世論を示そうと呼びかけた。

また上田先生は、西宮市議会で担当官が、「阪神・淡路大震災時の解体工事でも国の調査で周辺の大気健康被害を及ぼすようなアスベストの飛散は確認されなかった」と答弁したことを紹介。大気モニターの基準値と健康被害に因果関係はなく、震災から現在までに少なくとも5人は中皮腫で死亡している事実をどう考えるのかと訴えた。最後に震災によるアスベスト被害は検証されておらず、全体像も把握されていない事を指摘し、住民の命と健康を守るため声を上げていく重要性を強調した。



上田先生が訴訟に至った経緯などを詳しく解説した



アスベスト問題について熱心に学習・交流する参加者

**こしき岩アスベスト訴訟
第一回口頭弁論**

日時 10月25日(火)13時15分
場所 神戸地裁 101号法廷

傍聴をご希望の先生は協会事務局まで、「一報ください」(TEL 078・393・1809)

世話人会だより

西宮・芦屋支部は9月23日(金)に西宮中央公民館で世話人会を開催。5人が参加した。

【報告】

- ①院内感染対策研修会「BBPコース」シリーズ第3回(9・17) 12人
- ②アスベスト問題研究会(10・1) 5人
- ③政策懇談会(10・1) 7人

【予定・企画】

- ①第6回ファイアサイドディスカッション(10・22)
- ②チキンラーメン手作り体験(11・3)
- ③保険請求事務講習会(11・12)
- ④秋の文化講演会(11・12)

【協会・保団連行事】

- ①第31回保団連医療研究フォーラム(10・9) 10・10(京都)
- ②第25回日常診療経験交流会(10・30)

*世話人会の日程は毎月第4金曜日です。支部についてのご意見や企画案などをお寄せください。

保険請求事務講習会 (西宮会場)

日時 11月12日(土)～13日(日)

- <1日目> 午後2時30分～5時30分
- <2日目> 午前10時～午後3時

会場 西宮市立勤労会館第8会議室

参加費 8,000円
(資料代、2日目の昼食代を含む)

定員 80人(先着順)

2日とも参加された方には修了証を発行します

―お申し込み・お問い合わせはTEL: 078-393-1809 納富・山田・岡林まで―

第6回ファイアサイドディスカッション 「かかりつけ医」について考える

日時 10月22日(土) 午後3時～

会場 西宮大学交流センター
(阪急西宮北口駅から北東へ徒歩3分)

講師 伊賀 幹二 先生
(西宮市・伊賀内科循環器科 院長)

司会 林 功 先生(西宮市・林医院 院長)

参加費 無料

西宮・芦屋支部 秋の文化講演会

チベット人声楽家 **バイマーヤンジン** さんが語る
私が見た日本、伝えたいチベットのこと



チベット人声楽家のバイマーヤンジンさんに日本で住むことで感じたこと、チベットへの思いについて語っていただきます。

と き **11月12日(土)**
17時30分開場 18時開演
(20時終了予定)

ところ 西宮市立勤労会館大ホール
西宮市松原町2-37
JR西宮駅より南徒歩10分、
阪神西宮駅より東徒歩10分)
TEL. 0798-34-1662

入場無料 どなたでもご参加いただけます。

(ご家族、患者さんやスタッフの方もぜひご参加ください)

後 援 西宮市、西宮市教育委員会、西宮市文化振興財団、芦屋市、芦屋市教育委員会、神戸新聞社

—お申し込み・お問い合わせはTEL: 078-393-1809 納富・山田・岡林まで—



手洗いや手袋の着脱などを実践的に学習

た。登山氏は英語版テキストの日本語訳を自分で行った方です。おそらく日本語バージョンのBBPコースを開催している回数は日本で一番多いインストラクターで、彼女の適切なリードでコースはどんどん進んでいきました。途中実技講習も行われました。手袋のつけ方や外し方、それに手洗いのやり方を参加者全員に実際に練習していただきました。

9月17日(土)の午後に、BBP(血液)を經由して伝播する病原体)コースが開催されました。このコースは医療従事者としてこのような病原体の感染を防ぐ方法を学ぶもので、今回は3回目の開催となりました。コースの開催場所は私の診療所でした。前回は病院の会議室をお借りして開催したのですが、今回は実際の現場に雰囲気を感じさせるために、あえて自分の診療所を使うことにしました。そのためそれほど広いスペースが取れず受講人数を制限せざるを得ませんでした。申し込みを希望された段階

です。すでに定員いっぱいになっていたために参加をお断りした方には、この場を借りてお詫び申し上げます。さて当日は全部で12人の申し込みがありました。内訳は医師5人、歯科医師1人、看護師4人、歯科助手1人、それに受付担当1人でした。教材はアメリカ心臓協会が発行している英語版のテキストとそれを日本語に訳した参考資料を用いました。インストラクターには京都から登山寿子氏に来ていただき、スライドとビデオ教材を併用しながら、BBPコースを進めていきました。

登山氏は英語版テキストの日本語訳を自分で行った方です。おそらく日本語バージョンのBBPコースを開催している回数は日本で一番多いインストラクターで、彼女の適切なリードでコースはどんどん進んでいきました。途中実技講習も行われました。手袋のつけ方や外し方、それに手洗いのやり方を参加者全員に実際に練習していただきました。

西宮・芦屋支部は9月17日、西宮市・あしたこども診療所で「BBPコース」血液に触れることのリスク、触れないための方法、触れた時の対処法」のテーマで院内感染対策研修会を開催した。昨年の6月20日に西宮市・広川内科クリニックで、11月19日に西宮渡辺・心臓血管センターで開催しており、今回で3回目の開催となった。アメリカ心臓協会(AHA)インストラクターの登山寿子看護師が講師を務め、12人が参加して学習した。司会を務めた芦田乃介先生の感想文を紹介する。

た。日ごろ何気なしにしているこれらの手技の正しいやり方を知った受講者の皆さんからは、一様に驚きの声が上がりました。それとともに、こういう簡単な手技こそが感染防御にとってとても重要であること、身を持って知っていただけたと思います。そしてコースの最後はクイズで締めくくりました。当日の講習内容を振り返る簡単なクイズで、知識の振り返りの機会を作ることとを目的としたものです。そしてコースの最後に保険医協会さんからの受講証とともにアメリカ心臓協会認定のコース受講証明書が参加者全員に手渡されました。このコース受講証明書はアメリカでは結構重要な意味合いを持つカードです。このカードを取得することで職が供給される職場もあるほどです。日本ではあまり目にする事のない受講証明書ですが、アメリカでは「黄門さまの印籠」になりうる受講書です。そんな貴重な受講書を手に入れた受講者の皆さんは満足げな表情を浮かべておられました。

院内感染対策研修会「BBPコース」
医療機関に勤めるすべての人の受講を

た。日ごろ何気なしにしているこれらの手技の正しいやり方を知った受講者の皆さんからは、一様に驚きの声が上がりました。それとともに、こういう簡単な手技こそが感染防御にとってとても重要であること、身を持って知っていただけたと思います。そしてコースの最後はクイズで締めくくりました。当日の講習内容を振り返る簡単なクイズで、知識の振り返りの機会を作ることとを目的としたものです。そしてコースの最後に保険医協会さんからの受講証とともにアメリカ心臓協会認定のコース受講証明書が参加者全員に手渡されました。このコース受講証明書はアメリカでは結構重要な意味合いを持つカードです。このカードを取得することで職が供給される職場もあるほどです。日本ではあまり目にする事のない受講証明書ですが、アメリカでは「黄門さまの印籠」になりうる受講書です。そんな貴重な受講書を手に入れた受講者の皆さんは満足げな表情を浮かべておられました。